

第4号

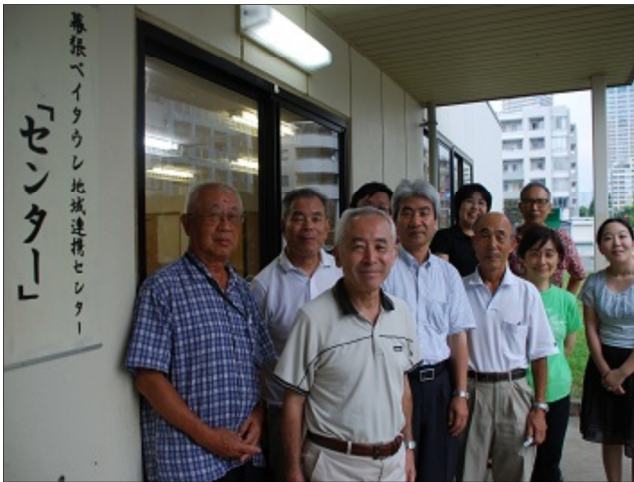
発行責任者
幕張ベイタウン協議会
www.bt-machi.com

幕張ベイタウン
協議会

NEWS

住民活動の拠点「センター」開設 「旧子どもルーム」、千葉市から借り受け

子育て世代・高齢者サロン開設も



幕張ベイタウン協議会は、7月1日から千葉市の「幕張ベイタウン活動拠点施設」（旧打瀬子どもルーム）を借り受け、ベイタウンにおいて様々な公共・公益的な地域活動を展開している団体や組織とともに活動拠点として利用することとなりました。

6月29日に利用関係団体で構成する運営会議を設置。施設の愛称を「幕張ベイタウン地域連携センター」（略称「センター」）として、電気代・水道代などを負担し、協働で運営管理します。

運営会議に参加するのは、幕張ベイタウン協議会、幕張ベイタウン自治会連合会、社会福祉協議会打瀬地区部会、打瀬地

区民生委員・児童委員協議会、打瀬中学校区青少年育成委員会、打瀬地区スポーツ振興会、幕張ベイタウン商店街振興組合の7団体です。

コアに隣接するセンターは、昨年度始まった「ベイタウンマネジメント円卓会議」を引き継ぐ「幕張ベイタウン連携会議」の開催、高齢者や子育て世代、子供たち向けの

ご意見募集！

ホームページに詳細情報

幕張ベイタウン協議会は、ベイタウンの住民、就業者、資産保有者の皆さんの意見を幅広く集め、まとめ、千葉県、千葉市、住宅事業者などに伝える組織として、2011年6月に誕生しました。ホームページ（www.bt-machi.com/）に詳しい情報を掲載しています。また、皆様のご意見をお待ちしています。ご意見はbt-machi@yahoo.comまで。

サロンの開設、一ちば市政だより市民配付モデル事業の実施拠点、関係団体等の会議の場などとして利用されます。7月5日には、一年以上空き家だった施設を、関係団体の30名以上が参加して大掃除しました。

Q&A

Q 一般住民も利用できますか？

A 市との契約に基づき、センターの利用は①公共・公益的な地域活動を行い②利用関係団体として運営会議に参加し③運営費等を分担して協働

で運営管理にあたる団体・組織としています。要件を満たす団体・組織から申し出があれば、運営会議への参加を協議します。お問い合わせはBTcenter-unei@yahoogroups.jpへ

Q 住民にはどんなメリットがありますか？

A 利用関係団体によるサロンの開設など地域活動が活発に行われるようになること、多くの方に気楽で心地よい居場所を提供できることとなります。ベイタウンまつりや朝市のほか、新たなイベントの活動拠点としても期待されます。

ベイタウンについて一緒に考えませんか？

シンポ開催 9月21日(土)14時～、コア・音楽ホール

美しい街並み・快適な住環境を守るために



ベイタウンについて、一緒に考えませんか？
9月21日(土)14時からコア・音楽ホールで、ベイタウンについて住民の皆さんが語るシンポジウムを開催します。私たちの街の将来を考えるきっかけとして、ぜひ参加をお願いいたします。参加は無料です。

約2時間半の予定で、居住年数や年齢も違う住民が集まり、それぞれの立場で、「この街の生活環境をどのようにしていきたいか」について率直に意見を交換するほか、ベイ

タウンの都市計画に関わった方々の意見を聞く場になります。

ベイタウンの都市計画に当初から参加し、2011年にはベイタウン・デザインガイドブックを指導した環境設計研究所代表の金丸宜弘さんにお話し、街についての住民の質問に答えてもらいます。千葉大名誉教授の北原理雄先生には景観の見地から話していただきます。また住民5名の方にパネリストとして発言してもらい、聴衆の皆さんも交え

て、意見を交換します。県企業庁から千葉市へまちの公共施設インフラが移管される中、ベイタウンの美しい街並みや快適な住環境を守るためには、住民の関与が重要なとの認識があります。昨年8月の住民アンケートでも、街の景観を評価する回答が90パーセントを超えました。

住民や行政、教育機関、NPOなど多様な主体が連携してベイタウンのまちづくりに取り組みするために昨年度、設置した「ベイタウンマネジメント円卓会議」の活動を発展させ、住環境を維持向上させていくためにも、住民の意見を出し合って行政に働きかけることが求められています。

今年7月には県企業庁・千葉市と幕張ベイタウン協議会・景観委員会などとの間で景観についての勉強会が始まりました。勉強会では、都市計画によるベイタウンの成り立ちを住民に理解・支持してもらうことが重要という認識で一致しました。

第1回「連携会議」開催

昨年度設置の円卓会議を継承



少振興会や打瀬小学校、千葉大学の関係者が参加しました。

住民や行政、教育機関、NPOなど多様な主体が連携してベイタウンのまちづくりに取り組みするために昨年度、設置した「ベイタウンマネジメント円卓会議」を継承する「幕張ベイタウン連携会議」の第1回会議が6月16日、開催されました。

同会議では、事務局となるベイタウン協議会のほか、幕張ベイタウン自治会連合会、打瀬地区の社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、青少年育成委員会、スポー

今後、連携会議で検討すべき課題や具体的な取り組みとして、学校・子ども地域のつながり、街の景観維持、異世代間交流、交通・防災・防犯などが説明されました。さらに、景観について考える会を9月に開催

することが紹介されました。打瀬地区の4つの小学校による「打瀬地区子ども円卓会議」の活動として、「子どもまち歩きワークショップ」(子ども探検隊)、ベイタウンクリーン作戦、ラジオ体操などの計画も発表。「連携会議」が「子ども円卓会議」と協力していくことも提案されました。これらの内容を核とする2013年度事業計画(案)も承認され、今後、連携会議を2か月毎に開催する予定です。